

《担当者名》○薬剤部薬局長 / 岩尾 一生 薬剤部主任 / 及川 孝司

【概要】

医薬品の適正な使用・管理を通して医薬品に関する知識の実践を体験し、歯科医療における医薬品と歯科衛生士のかかわりについて学ぶ。

【学修目標】

歯科医療で常用される医薬品について理解するために、医薬品の適正な使用や管理について知る。

1. 医薬品の法的な管理を行うことができる。
2. 消毒薬の特徴を理解し、適正に使用することができる。
3. 歯科常用医薬品の特徴を理解し、適正に使用することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	調剤 薬品管理 消毒薬	● 調剤から投薬までの実際を見学する。 ● 医薬品の法的管理（劇・毒薬、麻薬・向精神薬等）及び品質管理（温度、光、使用期限、有効期限等）の実際を見学する。 ● 臨床実習中に習得した消毒薬に関する知識を再確認するために、質問形式で学習する。	岩尾 一生 及川 孝司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習態度などを総合して評価する。

【教科書】

疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 「薬理学」医歯薬出版

【備考】

プリントを配布する。

【学修の準備】

学修内容に基づき、実習項目について、予め教科書で予習すること（60分）。

実習中に学んだ医薬品の取り扱い等の知識を整理し、教科書と配布プリントで復習すること（60分）。

【実務経験】

岩尾一生（薬剤師）、及川孝司（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

北海道医療大学病院での実務経験を活かし、歯科衛生士として必要な医薬品の取り扱いに関する基本的知識について教育する。